

平成 29 年第 413 回信濃町議会定例会 2 月会議 会議録 (3 日目)

(平成 29 年 2 月 16 日 午後 2 時 10 分)

●議長 (小林幸雄) それでは会議を再開いたします。
通告の 4 佐藤仙治議員。

- 1 停電事故について
- 2 冬期における防災時の避難対策について

議席番号 3 番・佐藤仙治議員。

◆ 3 番 (佐藤仙治) はい。議席番号 3 番・佐藤仙治です。本日私の質問は、1・停電事故について、及び 2・冬期における防災時の避難対策についての二点であります。

まず質問に入ります前に、町長に、災害や事故に対する基本的な考え方についてお伺いします。私は、過去に発生した事故や災害から学べるものは全て学び、以後の事故発生時や災害対応に活かしていくことが極めて重要であると考えていますが、このことに関して、町長の見解をまずお伺いしたいと思います。

●議長 (小林幸雄) 横川町長。

■町長 (横川正知) 佐藤仙治議員さんの質問にお答えをいたします。過去の災害等々について、どう学んでいくか、ということかというふうに思いますが、私ども行政を担当する者として、町内における災害、あるいは町外でもそうですが、そういった災害について、しっかりとして学ばせていただいて、自分の地元町において、なった場合どうする、そういうことを絶えず想定もしながら、対応していくことが極めて大事だというふうに思っております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆ 3 番 (佐藤仙治) それでは、最初の質問に移りたいと思います。

電気というのは、以前に比較して現代社会においては欠くことができない重要な、私はエネルギーだと思っています。そこで、確か昨年 12 月 31 日と、今年に入りまして 1 月 17 日、各々停電事故が発生しております。その詳細についてお伺いしたいと思います。まず初めに、事故の発生状況、原因、停電区域、停電時間及び被害状況についてお伺いしたいと思います。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) それでは私からご質問につきましてお答えをいたします。こちらの内容につきましては、ご質問いただく中で中部電力に問い合わせをさせていただき

平成 29 年第 413 回信濃町議会定例会 2 月会議 会議録 (3 日目)

まして、回答いただいた内容でございます。

まず 12 月 31 日の停電発生状況ですが、原因は、雪の重みで傾斜した樹木が雪除けのワイヤーを押し上げ、高圧線に接触したことによるもので、停電時間は午後 3 時 5 分から 6 時 17 分でございます。停電戸数につきましては、柏原・富濃地区を中心に 611 戸です。

1 月 17 日の停電発生状況につきましては、原因は積雪による倒木で、高圧線指示部が外れ高圧線と金具が接触したことによるもので、停電時間は午前 7 時 19 分から午後 12 時 7 分、停電戸数は富濃・古間・穂波地区を中心に 397 戸です。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) はい。町長、町長にお伺いしたいんですけど、今回の停電事故、1 月 17 日というのは昼間だったと思うんですけど、12 月 31 日というのは、町長は情報の連絡はいつ受けられましたか。

●議長 (小林幸雄) 横川町長。

■町長 (横川正知) はい。3 時 5 分からでしたか、停電になったということでございますが、停電になってしばらく、ちょっと時間は憶えておりませんが、かなり早くに総務課長から連絡をいただきました。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) はい。本件に対して、直接的な指示というのは出されましたか。

●議長 (小林幸雄) 横川町長。

■町長 (横川正知) 12 月の 31 日という、まさにこの 1 年の締めくくりのときであって、それぞれのご家庭でも新たな年を迎えるに当たってのいろいろな、何と言いますか思いで、家庭生活を営んでおられると、こういう時期でございます。

私自身も、先ほど言いましたように総務課長から連絡をいただいて、12 月 31 日、しかもこの雪の降っているといえますか、寒い中での停電でございましたので早速役場の方へまいりまして、そして言ってみれば、どこまで、いつまで停電なのか分からないという状況を想定しなきゃいけないということで、万が一に備えて避難場所といえますかその辺についても準備するようというようにも含めて、対応させていただいたところでございます。また、役場へ来てからの話し合いの中で、特に病院、そしてまた特別養護老人ホーム、グループホームのあるおらが庵、そちらの方も停電になっているというようなことでございますので、その辺について優先的にしっかりと電気をまず送ってもらうような段取りを組む必要があるというようなことも含めて、対応について協議

平成 29 年第 413 回信濃町議会定例会 2 月会議 会議録 (3 日目)

をし、指示をさせていただきました。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) はい。今回 12 月 31 日の事故については、特に、問題というわけではない、被害状況というのはあったのでしょうか。役場のつかんでいる範囲内で答弁願います。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) 被害状況というのは程度にもよると思うのですが、当然停電をしておりますので、暖房器具等は使えなかった状況にあると思いますし、また年越しの準備等も遅れたと思いますけれども、生命を脅かすような被害というものはこちらでは把握してございません。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) ちょっと、くどくて申し訳ないですけど、今回の事故に関して職員には非常招集はかけられたのでしょうか。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) はい。12 月 31 日の職員の参集でございますが、日直者からの連絡により私が午後 3 時 30 分に登庁しております。その他、総務課職員 5 名、下水道課職員 1 名が自主的な判断または消防主任や庁舎管理担当など必要な担当者に参集指示をすることにより、登庁して対応しております。また町長及び副町長も登庁し、情報収集及び指揮を行っております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) はい。情報収集と住民に対する伝達についてお伺いしたいと思うのですが、今、総務課長から情報収集の一部説明がありましたが、情報収集して、町民の方には連絡はされたのでしょうか。連絡というか広報というか、今回のこの事故に関して。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) 停電の情報につきましては、住民の皆さまから問い合わせがありますので、その関係でどの方面が停電をしているかということが分かりますので、そ

平成 29 年第 413 回信濃町議会定例会 2 月会議 会議録 (3 日目)

の情報を集計してございます。また中部電力から随時連絡が入りますので、その連絡と中部電力のホームページに掲載されている情報で把握をしております。また復旧作業しておることは存じておりますけれども、必要に応じて中部電力に確認の電話を入れさせていただいております。住民の広報活動ですが、12月31日につきましては、オフトーク放送と屋外放送でお知らせをしております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3番 (佐藤仙治) はい。庁舎には、確かバックアップ電源というのがあると思うのですが、この辺の稼働とかいうのは特に問題はなかったのでしょうか。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) はい。役場庁舎の停電に対します発動機等の作動については特に問題ございません。3時、庁舎停電が発生と同時に稼働いたしまして、6時15分頃役場庁舎への電力通電を確認しまして、復旧により自動停止を確認いたしております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3番 (佐藤仙治) 役場には予備電源とかバックアップ電源があるんですけど、その他、例えば学校とかそういうのは、どのような状況になっているのでしょうか。分かっていたら説明をお願いします。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) 役場以外の予備電源設備につきましては、信越病院、地域交流施設、北部浄化センター、柏原浄化センターの4箇所に配置しております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3番 (佐藤仙治) はい。さっき町長からも答弁がありましたけれど、特に病院とか、その辺は問題無かったと、おらが庵とか。こういう理解でよろしいのでしょうか。再度お願いします。

●議長 (小林幸雄) 横川町長。

■町長 (横川正知) 病院も夕食の時間にかかる、厨房の方の段取りがあったというようなことで、これ全く問題無かったかということ、問題無かったという言葉では済まされないのかな、つまりそこに停電に対する対応ということで、それぞれの分野でしっかりや

っていただいたということでございますし、それから、おらが庵についても、これいわゆる議員さんと言われるような、常設のバックアップ電源といえますか、非常用電源みたいなものは持っておりませんので、そういったことについては消防団長の理解を得て、地元第二分団の皆さん方に協力をいただいて、発電機等々照明器具も含めて対応させていただきますと。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3番 (佐藤仙治) はい。この防災計画を見ますと、電気というのはどうも、私らもあまりよく分からなくて、内容を見ても電力会社の言うこと、電力会社の指示に従ってこうこうしてくださいとか、そういうようなことが書いてあるんですけど、役場と電力供給会社のその連携というのは、どのようにされているのですか。通常と非常の時では別ですけど、この辺はどのように考えてどういうふうに動かれているのか、説明をお願いいたします。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) 電力会社でございますが、まずこの地域防災計画を策定します信濃町防災会議の委員に任命をさせていただいております、会議に参加いただく中で地域防災計画を策定しております。通常の場合につきましては、予想ができる停電につきましては、事前に中部電力から情報がありまして、オフトーク等通じまして住民の皆さんにお伝えをしております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3番 (佐藤仙治) はい。今回の事故を通しての課題というのはどのようなものなのか。合わせて、その対策についてお伺いしたいと思います。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) まず停電の対応につきましては、役場としましては、二つの内容があると考えております。まず一点は、住民の皆様の生命を脅かす事態等への対応が一点でございます。また、町で管理するインフラ等への対応がもう一点でございます。今回の対応につきましては、出来る限りを対応させていただきまして、その二点につきまして対応したわけでございますが、やはり緊急時のバックアップの発電機等の配置が無いというような民間施設につきましては、やはりそれなりの施設整備というものが必要ではないかというふうに感じております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) はい。今回の知見を活かして、地域防災計画、これの見直しということ、今回の予算案の時も確かそういう提案があったと思うのですが、その辺は内容を更に私はこういう知見も含めて十分反映させて、充実させていく必要があると思うのですが、その辺に関する見解についてお伺いします。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) はい。停電時の対応につきましては、この地域防災計画の中でも、現状でも電気施設災害予防計画、電気施設応急活動につきまして規定をしております。内容的には、基本的には配電業者の任務が書かれております。そういう中で、それを確実に実行していただくことが大事だと考えておりますので、その部分についての見直し等は考えておりませんが、今回冬期間の停電だったということで、そういうことで議員からの後段のご質問にもあろうかと思っておりますが、そういう対応は必要かと考えております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) はい。是非この知見を活かしてもらって、こういうことはあつてはいけないのですが、やっぱり今、電気がないと私も本当にもうお手上げで、お湯ひとつ沸かすことができない。全部電気関係の設備になってしまって、というようなことで、これからまた質問していきますけど、この知見を是非活かして、防災計画に盛り込んで万全を期してもらいたいと思います。

それでは、次の質問に移りたいと思います。

次はですね、冬期における防災時の避難対策について、質問をいたします。具体的には、避難指定場所に指定されている、体育館とかいう所ですね、本当に今のこの時期に入れるんだろうかという、私は問題提起というか、実際見たりして、これからご質問して、町の考え方を伺いたいと思います。特に、雪が降ったり、積雪時、屋根からの落雪、雪庇等、冬期は特に入口付近は危険な状態となっておりますが、各避難指定場所への入口通路確保の方策は万全でしょうか。まずこれを聞きたいと思います。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) 避難場所につきましては、現在 16 施設を指定しております。公民館や保育園など通常使用している施設以外で、入口の確保が必要な施設につきましては、冬期間休館しております古海体育館、野尻湖体育館及び富士里体育館の 3 体育館となります。3 体育館とも排雪場所利用等で直接体育館又は旧校舎入り口までの通路が確保されており、入ることは可能になっております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) はい。実際これ、今の古海体育館、それから富士里体育館、野尻湖体育館ですか、実際は入口というのは校舎側から入ることになるのでしょうか。それとも、いきなり体育館の入口から入るような、今、経路になっているのでしょうか。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) はい。古海体育館につきましては、冬期間は直接入ることはできませんので、校舎玄関から入っていただくようにはなりません、区長様の方に鍵を渡してございます。野尻湖体育館につきましては、体育館横から直接入ることが可能となっております。富士里体育館につきましては、校舎玄関又は渡り廊下から入ることができるようになっております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) はい。特にこの中で野尻湖体育館というのは、かなり積雪もあって、積雪というか屋根に雪が載っていて、横から入るとするのは私、非常に危険があると思うのですが、その辺の見解は三つともやっぱりそういう…すいません、野尻湖体育館について、見解をお伺いします。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) 野尻湖体育館につきましては、屋根の雪が崩れる面ではなく、横の面に屋根等が付いた状態で入口を確保してございますので、中に入ることは可能となっております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) はい。この案内というか、経路表示などは必要ないのでしょうか。今、例えば古海の体育館はこっちの玄関から入るんだよ、体育館の方から入るんじゃないよ、富士里は体育館の確か入口の方から、横の校舎の入口の方から、野尻湖は横から入ると。この辺の、経路表示というのは必要ないのでしょうか。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) 指定避難所につきましては、まず職員がそちらに向かいまして入口等確保するようになっておりますので、現状ではその誘導等の看板等については考

平成 29 年第 413 回信濃町議会定例会 2 月会議 会議録 (3 日目)

えておりませんが、当然その避難が実際に行うとなれば何らかの表示をして、こちらからお入り下さいというような表示はさせていただきたいと思います。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3番 (佐藤仙治) はい。除雪についても定期的にとというか、もう日常的に実施されて、その避難経路は確保されていると考えてよろしいのでしょうか。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) 避難所の除雪につきましては、当然使用しております残りの13箇所につきましては、所管課において独自の除雪契約を締結する中で、除雪がされております。また、町道除雪の延長等に含める中で、他の3施設につきましても除雪が実施されております。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3番 (佐藤仙治) はい。特に冬というのは夏と違って、除雪スペース、駐車スペースの確保というのは非常に難しいと思うのですが、これについては避難所周辺あるいは周辺に駐車スペースというのは、あらかじめ何台かは考えられているのでしょうか。用意されているのでしょうか。

●議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) 非常時の駐車場の確保につきましては、公民館や保育園など、通常使用されている施設につきましては駐車スペースが確保されておりますが、先ほど休館している3体育館につきましては、それぞれグラウンド等が除雪をされておりますので、近くの避難所等の駐車場の対応となります。

●議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3番 (佐藤仙治) はい。これちょっと町長にお聞きしたいんですけど、先ほど副町長からも、今、信濃町では1軒で約2台近く、1.7台ですか、ぐらい車を持っているよと。実際避難するとなると、私はやっぱり、車しかない、という言い方はおかしいですけど、やっぱり車が主体になってくるんじゃないかな。一気にそこに行くわけじゃないですけど、したがって駐車場のスペースというのは、どういう格好、駐車スペースというのは、どういう形であれ、私はやっぱり空けておく必要があるんじゃないかなと思うんですけど、その辺の見解はいかがでしょうか。

● 議長 (小林幸雄) 横川町長。

■町長 (横川正知) 特に冬の今の積雪期のことを、ご心配されているんだろうと思うのですね。そこでは、限られたスペースしか現実問題ないわけですよ。その中で、避難場所といいますかそこに一番近い所から、どういう対象の方を停めていただくか、というようなことになってくるんだろうと思うのですね。ですからそういう意味では、例えば古海でいえば集落センターというんですか、集会所というんですか、当面一番近い場所があそこですから、そこにとめていただき、更には他の所も徐々に確保していくというような段階を踏むんだらうと思うのですね。やっぱりそれぞれの避難場所については、各集落各地域に用意をさせていただいてあるわけですから、基本的には津波だとかそういうのとは違って、近くの方は是非徒歩で避難をしていただく、そんな方向が、特に冬期間というのは必要なのかなというふうに思いますし、それを例えばグラウンドを通年、積雪期も除雪をしておいて確保しておけよというようなことは、ちょっと現実的には無理かなと思います。

● 議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3番 (佐藤仙治) はい。グラウンド全部というわけじゃないですけど、周辺ですね、要するに。車が通るくらいな、何メートルくらいになるんですか、4メートルくらいになるんですかね、幅は。そういうのは考えておられないですか。例えば富士里のグラウンドだったら、周囲をずっと雪片付けして、それか柏原グラウンドにしても、今、全然何にもやっていないんですけども、一周ぐるっと回って出られるような、そういう考えというのはないんでしょうか。地域交流施設が今、確か30台近く、上がって駐車場の所にスペースがあると思うんですけど、古海もグラウンドの真ん中に雪を固めて、周りに舗装してある所、かなり広く搔いてもらっているのも、もちろん町長の言った集会所の所もあるんですけど、そういうような考えはお持ちでしょうか。

● 議長 (小林幸雄) 横川町長。

■町長 (横川正知) 万全を期すという意味では、そういうこと通年を通してやっておくというのは大事なんだろうと思うのです。ただ現実問題として、先ほども言いましたように、そのことが本当に可能かということになれば、なかなかそこまで費用もかかる話でもございますし、むしろ先ほども言いましたように、あるところ、例えば富士里で言えば合同庁舎のところは除雪してあるわけですから、そこから歩いて近いんですね。ですからそんなことを利用しながら、どうしてもということになれば状況に応じてその時点で対応すると、除雪力もかなり持っていますから、そういったことも可能だろうと。

● 議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

平成 29 年第 413 回信濃町議会定例会 2 月会議 会議録 (3 日目)

◆3 番 (佐藤仙治) はい。関連して、駐車スペースということで、今回大雪だったということで、この役場の正面の駐車場ですね、1 月中旬というのは、かなり私は狭かったのではないかなと。排雪もしていなかったし、大きい雪山が確か二つくらいあって、この辺はやっぱり私はやっぱり町の心臓部だし、ある程度資金を投入しても常にきれいにしていく、きれいと言ったらおかしいけど、ある程度確保する必要があるんじゃないかと思うのですが、その辺の町長のお考えはどうでしょうか。

● 議長 (小林幸雄) 横川町長。

■町長 (横川正知) 基本的には、今佐藤議員さんが言うことを否定するわけではないんですね。そのことを絶えずベストの状態にしておけばいいじゃないかということになるんですが、しかもこの役場の中といいますか駐車場については、その基幹的な場所になるんだらうと、こういうことですが、そういう意味では、それこそ今年のように毎日毎日降っているわけですよ。それを毎日毎日排雪するのか、ということにもつながるわけですね。ある一定たまった時に、特にまたこの時期申告相談等々もあるわけですから、そういった予定されていることに対してはしっかりと対応するというようなことで、進めていくのが今考えられる一番いい方法、いい方法といいますか、とりあえずやれる方法なのかなと。言われるように、毎回全部きれいにしておけよということとは不可能ではないのです。ないのですが、そのことが具体的対応としてどうなのかなということですよ。

● 議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) はい。先ほどの電気のこととちょっと関連するんですけど、電力供給が遮断された場合の暖房設備の電源確保について、これ避難所なんですけど、お伺いしたいと思います。停電事故に鑑み、非常用の電源等のバックアップ設備等は、十分なされているのでしょうか。まずお聞きしたいと思います。避難所について。

● 議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■総務課長 (高橋博司) 暖房につきましては、できる限り暖房器と発電機等を整備して対応してまいります。

● 議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆3 番 (佐藤仙治) はい。停電になると、電源を要しない暖房器具というのが私は必要になるんじゃないかと思うんですけど、その辺の充足状況というか、準備状況というのは現状どうなっているのでしょうか。

平成 29 年第 413 回信濃町議会定例会 2 月会議 会議録 (3 日目)

● 議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■ 総務課長 (高橋博司) 現状では、電源の要らないストーブの整備はされておられませんけれども、今後導入を図ってまいりたいということで、具体的な検討に着手をしております。但し、電源のいらないストーブ等につきましては、それぞれの暖房面積というものがそれぞれ広くありませんので、対応についてはその対応できる範囲については限定かなというふうに考えております。

● 議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆ 3 番 (佐藤仙治) はい。町としては、今回の事故も考えると、その非常用電源、いわゆる非常用発電機というんですか、そういうようなもので対応されようと、とりあえずはしているというふうに考えていいのでしょうか。その台数というのは充足されているのでしょうか。

● 議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■ 総務課長 (高橋博司) 発電機につきましては、役場に 4 台備えており、消防団においては 14 台保有しております。これらを機動的に運用しながら対応してまいりたいと考えております。また、非常用発電機の確保につきましては、ご存じのとおり発電機はモーターでありますので、エンジンでありますので、その燃料との管理も含めてメンテナンスが毎年必要になってまいります。購入をして終わりというわけではなく、それを管理していただくという体制が必要となっておりますが、今後、自主防災組織等の届出をしていただいた地区におきまして、管理をしていただくということであれば、そちらの方にも配備してまいりたいと考えております。

● 議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆ 3 番 (佐藤仙治) はい。今、発電機の燃料に関してちょっとお聞きしたいと思うんですけど、備蓄燃料等はどのように確保されているのでしょうか。もうこの辺は何か管理というか、数量とか何かで管理されているのでしょうか。

● 議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■ 総務課長 (高橋博司) 基本的には、それぞれの分団また役場等に備蓄している分での対応となります。

● 議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

平成 29 年第 413 回信濃町議会定例会 2 月会議 会議録 (3 日目)

◆ 3 番 (佐藤仙治) はい。もう一つ、備品というか資機材になるんですけど、特に冬ということで、長靴とか防寒具、スノーダンプ、スコップ等の備蓄状況というのはどうなっているのでしょうか。

● 議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■ 総務課長 (高橋博司) 申し訳ございませんが、長靴等の備蓄状況については特に把握をしておりません。職員がそれぞれ対応するものでということと、住民の皆さんの用意されている中でという対応になります。スノーダンプ等の備蓄につきましても、通常役場で保管しているもの以外の備蓄というものは行っておりません。

● 議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆ 3 番 (佐藤仙治) はい。長靴はともかくとして、スノーダンプとかスコップ等というのは、ある程度私は準備する必要があるんじゃないかなと思うんですけど、各避難所においてですね。この辺の見解を伺いたいと思います。

● 議長 (小林幸雄) 高橋総務課長。

■ 総務課長 (高橋博司) 必要がある場合には、対応してまいりたいと考えます。

● 議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆ 3 番 (佐藤仙治) はい。最後に町長に提案したいと思うんですけど、冬期に、実地の避難訓練を実施して、問題点や課題等について検証して、地域防災計画の見直しやその内容の充実に活かしていくことが重要だと考えますが、この提案に対する見解をお伺いしたいと思います。

● 議長 (小林幸雄) 横川町長。

■ 町長 (横川正知) 冬期は特に信濃町は、この様変わりする自然状況でありますので、おっしゃるようなことは大変必要なのかなというふうに思うのですが、しかし今、1年に1回ですね、持ち回りといいますか防災訓練を行わせていただいております。そういう中を含めて、具体的にその時期にどういう動きをするんだということを確認していただくということでもありますので、改めてその冬期において、むしろ冬期の訓練をやるということになりますと、比較的この高齢化が進んできたこの地域において、逆にちょっと支障もあるかなというようなこともございますので、しっかりとこの1年に1回やっている防災訓練というものをもって、いざという時の自分の進む身の方角というものを、しっかりとそれぞれの住民の立場でつかんでおいてほしいと、こう

いう思いでございます。

● 議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆ 3 番 (佐藤仙治) 私が言っているのは、質問の内容が悪かったんですけど例えば、役場の担当、という言い方は大変失礼なんですけど、そういう、ある程度少人数でやっぱり、今の出したような問題をもう 1 回やっぱり実施検証してみるということは、私は必要なんじゃないかなと。夏考えてもやっぱり冬のことはよく分からないと思うんですよね。今この時期しか私も分からないこともあると思うので、それでこういう提案をしたんですけど、再度、町長の見解をお聞きしたいと思います。

● 議長 (小林幸雄) 横川町長。

■ 町長 (横川正知) 今、職員に対する訓練といえますか、そういうことだと、また違った面から考えなきゃいけないのかなというふうに思うのですが、しかしまた物理的な部分に対してどう対応するかという問題が出てくるわけですね。それはもうある面では、この地域の、大体この地域の人間ですから、何が必要で持っていかなきゃいけないというのは、自ずと土地柄掌握できるわけでありますので、動き方からしてその動きが基本的に変わるかということ考えた時に、その大きく動き方が変わるというわけじゃございませんので、特にそういったことで改めて冬に向けて訓練をするということは、特に必要ないんじゃないかなというふうに思っております。佐藤議員さんが常々防災問題についてご質問いただいているわけですが、いろいろな中で職員もいわゆる HUG (ハグ) といえますか、HUG といういわゆる図上訓練も含めて、いざとなった時どういう対応をする、どういう順番でお迎えをするといえますか、避難所の設営の仕方だとかそんなことも、今、力を入れて研修も深めているわけですので、当面そんなことに力を入れてやっていきたいということで、冬の訓練というのは今の段階では特に考えていないということです。

● 議長 (小林幸雄) 佐藤議員。

◆ 3 番 (佐藤仙治) はい。今日 12 月末に発生した電気の停電事故というのをお聞きして、私は、役場の職員は非常に私は良くやってもらっているんじゃないかな、本当に見えなかったんですけど、一安心しました。是非また、今さっき町長の答弁にあったように、更に充実して、やっぱり安全安心というのを確保するようにしてほしいということをお願いいたしまして、私の一般質問を終わります。

● 議長 (小林幸雄) 以上で、佐藤仙治議員の一般質問を終わります。この際、3 時 5 分まで暫時休憩といたします。 (午後 2 時 49 分)